

## 2018年6月18日開催 第30期定時株主総会 開催概要

当社は、以下のとおり定時株主総会を開催いたしました。

※本資料は、定時株主総会の開催概要をホームページでお知らせする目的で作成したものであり、法定の「株主総会議事録」とは異なります。

### ■開催日時

2018年6月18日（月曜日） 午前10時00分～午前11時20分

### ■開催場所

新宿オフィス（本社） セミナールーム

東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア17階

### ■当日出席株主数

51名

### ■会議の目的事項

<報告事項>

1. 第30期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第30期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）計算書類報告の件

<決議事項>

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役7名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件

決議事項につきましては、原案通り可決されました。

### ■主な質問事項

<質問1>

バリアフリーの時代は終わり、ユニバーサル（デザイン）の時代となったと捉えている。業績拡大等に関する縦軸ではなく、社会的な貢献等の横軸について、どのように考えているのか教えてほしい。

<回答1>

当社独自で対応するというのではなく、そのような活動を行われているお客様と一緒に、当社はITの側面から支援していきたいと考えております。

## <質問2>

企業集団のソフトバンクグループにおける当社の存在意義あるいは貢献のポイントはどのようなところにあるのか確認したい。

## <回答2>

当社の最大の強みは、マイクロソフト社のクラウドを活用したシステムインテグレーションの実績です。この領域では、当社はNo.1のポジションにいる自負があります。この強みを軸に、ソフトバンク株式会社と共同で提案やプロジェクトを多数進めている他、ARM社等とIoT領域における協業を進めております。その他、ソフトバンクグループ各社の情報システムの開発や運用についても支援を行っています。

## <質問3>

少子高齢化などの課題を含めて、今後、国内企業はグローバル化の流れを避けては通れないと考えている。当社ビジネスのグローバル対応、役員や従業員の外国人比率等に関する考え方について確認したい。

## <回答3>

ビジネスおよび体制のグローバル化についてですが、IoTの領域においては特に必要だと考えています。

IDや認証を連携することで利用者の手間を軽減するフェデレーションという考え方がありますが、デバイス側のIoTビジネスにおいては、子会社のサイバートラストは国内に認証局を保有しており、各国にも同じような事業会社が存在します。これらの各国の企業と連携して、サービスを提供していくということも想定しています。サイバートラストには、外国語が堪能な社員が多く在籍しています。

ソフトバンク・テクノロジー単体を中心となるクラウド側のIoTビジネスですが、当社が得意とするパブリッククラウドの考え方に国境や場所という概念はないため、このオフィス内から設定変更等の対応が可能であり、それがクラウドの良さです。当社役員に外国人はおりませんが、従業員においては新卒・中途採用ともに外国人の採用を行っており、異文化コミュニケーションが可能な状況にあります。

## <質問4>

当社の農業ビジネスについて、進捗を確認したい。

## <回答4>

農業分野においては、全国農地ナビの開発及び運用など、従前より政府が推進する攻めの農林推進業を支援してまいりました。当期においては、「農林水産省まるみえアグリ」プロジェクトの一環として、当社グループで農業資材の比較が簡単に行えるマッチングサービス「AGMIRU（アグミル）」を開始しました。一方で、当期に対応できるように準備していたものの、受注が次期以降にスライドした案件もございました。

以上